

本件は、大阪府政記者会、大阪市政記者クラブ、吹田日刊記者クラブに同時資料提供を行います。

報道関係各位

生きているミュージアム NIFREL

ニフレルで極めて貴重な「ウナギの赤ちゃん」を特別展示 ～透明で不思議なすがたをご覧ください～

大阪府吹田市「EXPOCITY」の生きているミュージアム「NIFREL(ニフレル)」では、2018年10月13日(土)より、館内1階「すがたにふれる」ゾーンにて、ニホンウナギの「レプトケファルス」と呼ばれる赤ちゃん(全長約5cm、約30匹)の展示を開始しました。

日本人になじみ深いウナギの、平らで透き通った、成魚とは全く異なる不思議な姿をご覧ください。



ウナギやアナゴ、ウツボの仲間などは、卵から孵化後、透明で平らな柳の葉のような形をしたレプトケファルスと呼ばれる幼生に成長し、さらに姿を大きく変えながら成魚へと成長します。

ニホンウナギは、西マリアナ海嶺で産卵・孵化し、レプトケファルスとして海流に乗り、日本沿岸にやってくる頃には細長いシラスウナギへと成長しています。そのため、自然界でレプトケファルスを見ることは極めて難しく、また人工繁殖に成功した事例も少ないことから、その不思議な姿を見る機会はほとんどありません。

現在展示中のニホンウナギの赤ちゃんは、孵化後約7ヶ月のレプトケファルスで、愛知県にある民間の研究施設にて、今年の3月3日に人工孵化によって誕生したものです。体が傷つきやすく、光に非常に敏感で神経質なことから、長期の飼育展示が難しいと考えられます。そのため貴重な姿をご覧ください。今だけです。

なお、国内での生きたレプトケファルスの展示例はほとんどなく、ニフレルでの展示は今回が初めてです。

【ウナギの赤ちゃん展示概要】

《展示期間》2018年10月13日(土)より展示中 ※終了未定

《展示場所》館内1階「すがたにふれる」ゾーン

《展示数》約30匹

※生きものの状況により予告なく展示を変更または中止をする場合があります。

※撮影はストロボや照明などが使用できないことを予めご了承下さい。写真提供は可能です。

【本件に関する報道関係のお問合せ先】

NIFREL(ニフレル) PR・広報担当 田井、西前

TEL:06-6876-2204 FAX:06-6876-2235 MAIL:nifrel.pr@nifrel.jp



《生きているミュージアム『NIFREL』施設概要》



名 称	NIFREL (ニフレル) (館長：小畑 洋)
運 営 会 社	株式会社海遊館 (本社：大阪市港区、社長：三輪 年)
所 在 地	吹田市千里万博公園 2-1 EXPOCITY 内ニフレル
営 業 時 間	10：00～20：00 最終入館は19：00
休 館 日	年中無休。但し、年に1回設備点検のための臨時休業あり。
施 設 内 容	7つのゾーン【いろにふれる、わざにふれる、すがたにふれる、WONDER MOMENTS、みずべにふれる、うごきにふれる、つながりにふれる (生きもの約150種・約2000点)】 ピクニックカフェ「EAT EAT EAT」(200㎡・112席)、スーベニアショップ (NIFREL×NIFREL)
入 館 料 金	大人 (16歳以上)・高校生 1,900円、小・中学生 1,000円、幼児 (3歳以上) 600円
交 通	大阪モノレール「万博記念公園駅」徒歩2分
駐 車 場	約4,100台 (EXPOCITY全体用駐車場)
構 造 規 模	S造 (一部SRC造、RC造) 3階建
建 築 面 積	約3,500㎡ (約1,060坪)
延 床 面 積	約7,200㎡ (約2,180坪)

- ※ 公式ホームページ <http://www.nifrel.jp>
- ※ ツイッター http://twitter.com/nifrel_official
- ※ Facebook <http://www.facebook.com/nifrel.jp>
- ※ インスタグラム http://www.instagram.com/NIFREL_OFFICIAL

